

事例No.5		
事業名	芋川災害復旧事業	事例キーワード 多自然型川づくり、住民参加
事業担当機関	秋田県建設交通部芋川災害復旧事務所	
事業期間	平成10年～14年	
実施場所	芋川（本荘市：子吉川合流点～大内町：北福田橋）	
事業概要	全体事業費	306億円
	工事概要	河川改修 L = 9.9km
	事業の目的	芋川は、大内町や本荘市の市街地及び田園地帯を大きく蛇行を繰り返しながら貫流する河川で、農業用水など地域一帯に恵みをもたらす一方で、川幅が狭く河積が小さいことから、大雨が降ると沿川各地で氾濫を繰り返してきました。当事業は、沿川に甚大な被害をもたらした平成10年8月の梅雨前線を契機に、この洪水を安全に流下させるために実施したものである。
環境配慮の内容	<p>当事業では、改修計画を住民と一体となって策定し、洪水の安全な流下や、河川環境に配慮した川づくりを実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水生生物の生育・生息環境の保全に配慮し、現況の低水路を極力保全した。 2. 低水路の保全とともに、河岸に繁茂するヤナギ低木林など河畔林については鳥類の営巣場所となっていることから極力保全した。 3. 護岸が必要な箇所では、表面が凹凸形状のブロックに覆土をするなど、植生が早期回復する工法を使用。 4. 玉石張りによる多孔質な環境の創出し、水生生物への配慮した工法や、その空間に木材を差し込み、鳥類の止まり木となる工法の選定。 5. 改修区間におけるタコノアシなど貴重な植物への影響に配慮し、移植を実施した。 6. 良好な生態系や景観を持ち、また釣り場として親しまれている旧川の保全。 7. 改修の計画段階から地域住民の意見・要望を聴き、川づくりの基本計画を協働で実施。（芋川川づくり懇談会） 8. 河川の利用やパートナーシップによる維持管理などについて勉強会や意見交換を行った。（芋川川づくり協議会設立準備会議） 9. 地域主導の川を守り育てる活動組織として、地域住民などが母体となった協議会を設立。（芋川川づくり協議会：芋川を楽しむ会） 	
状況工後の	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低水路や河畔林の保全に配慮した箇所では、改修前と変わらず、良好な生態系及び良好な景観が保たれている。 2. ブロックに覆土するなどした箇所では、植生が回復している。また、貴重種のタコノアシの植生は確認されている。 3. 川づくりの計画段階より、より芋川に親しみ・楽しめるようにワークショップやイベント等を開催。 4. 地域住民と行政が一体となった維持管理活動やパートナーシップによる美化活動を実施。 	

図面、写真、説明

1. 低水路の保全

計画断面

施工後状況



2. 河畔林の保全

河岸植生を保全

掘削しない



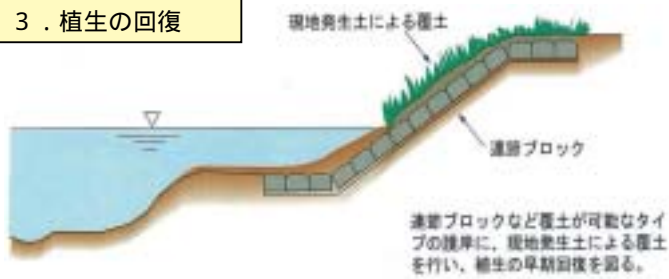
河畔林の保全状況



事例No.5

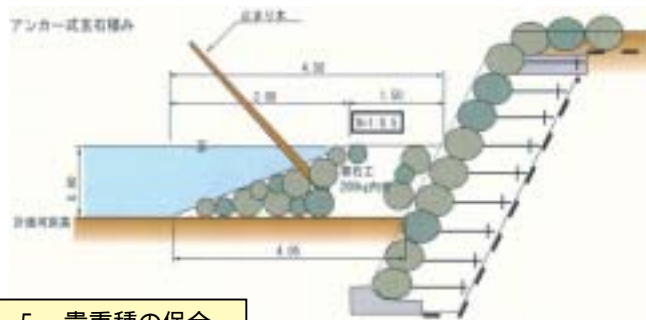
図面、写真、説明

3. 植生の回復



覆土後1年7ヶ月経過

4. 多孔質な河岸の整備及び止まり木の設置



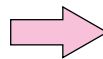
多孔質河岸の状況



5. 貴重種の保全



移植畑の造成



移植後の繁茂状況

6. 旧川の保全

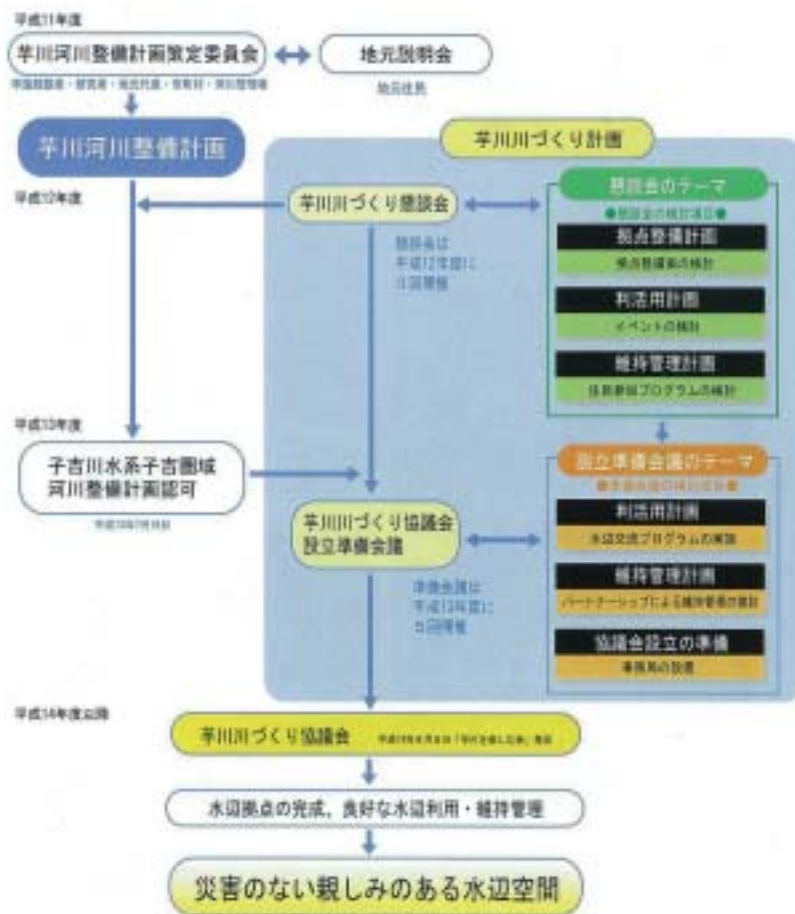


沼地として保全された三日月湖

事例No.5

図面、写真、説明

7. 住民参加型川づくりの進め方



川づくり懇談会で川づくり計画について話し合っている様子



川づくり懇談会での活動の様子（自然環境観察）

魚釣り大会



川づくり協議会設立準備会議の様子



川づくり協議会設立準備会議での活動様子

桜つつみ植樹祭



川づくり協議会



クリーンアップ、川下り、自然観察会など様々な活動が実施されています。

